

## 解答

① 問1 右図

問2 B, D

問3 7 5

問4 右グラフ

② 問1 針葉樹林 ウ・キ

夏緑樹林 カ・ク

照葉樹林 ア・エ

亜熱帯多雨林 イ・オ

問2 エ

問3 短日植物 ア, イ, エ

長日植物 ウ, オ, カ

問4 品種A オ

品種B エ

問5 (1) ア (2) オ (3) イ

③ (1) ウ, オ (2) ア, イ (3) エ (4) ア, エ

(5) ウ, エ (6) エ, オ (7) ア, ウ (8) イ

④ 問1 ア・オ

問2 エ

問3 水上置換法

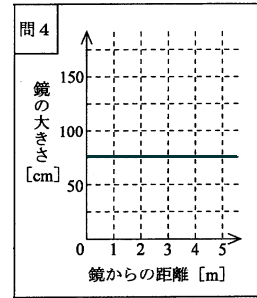
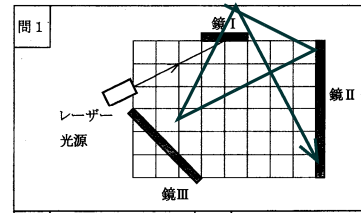
問4 マッチに火を近づけ試験管の口に近づける。ポンッと音がして水素が燃え試験管の口に水てきがつく。

問5 空気より軽い

問6 エ

問7 石灰水が白くにごる。

問8 軽い



## 解説

② 問4 品種Aが花芽を形成するのは、6月1日に種子をまくと7月24日、7月25日に種子をまくと8月4日なので、グラフから日長時間が13時間より長く14時間より短くなっていること、また、短日植物であることから、日長時間が14時間より短くなると花芽を形成することがわかります。また、品種Bが花芽を形成するのは、6月1日に種子をまいても7月25日にまいても9月1日なので、グラフから日長時間が13時間より短くなっていること、また、短日植物であることから、日長時間が13時間より短くなると花芽を形成することがわかります。

問5 (1) 問4より、品種Aは日長時間が14時間より短くなると花芽を形成する。タイのバンコクの場合は、グラフより、6月上旬にすでに日長時間は13時間になっているので、種子をまいた約10日後の6月中旬に花芽を形成することになります。

(2) 問4より、品種Bは日長時間が13時間より短くなると花芽を形成する。オランダのアムステルダムの場合は、グラフより、9月上旬から中旬にかけて、日長時間は13時間になるので、9月中旬に花芽を形成することになります。

(3) 日本の久留米の場合グラフより、7月上旬の日長時間は14時間前後になっています。そこで、日没2時間前から日没まで植物に光が当たらないようにしているので、実際には、日長時間は12時間前後になります。したがって、段ボールをかぶせた7月上旬に花芽を形成することになります。